

台風19号災害から何を学んだか

防災福祉の 動画教材です



コミュニティ編

地域とボランティアの
力があから

台風19号被災から何を学んだか～コミュニティー編～

長野復興ちゃんねる



YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCgAP_az_5DzzO6ddqV0JfaA

制作:長野県社会福祉協議会

〒380-0936 長野市中御所岡田98-1
TEL 026-228-4244/FAX 026-228-0130
E-mail: kikaku@nsyakyo.or.jp
URL: <http://www.nsyakyo.or.jp>

災害ボランティアセンター編

佐久穂町編

まちのさまざまな力を集
結して乗り越える
「がんばらぜい 佐久穂町」



協働の復興の歩みを
ささえている

台風19号被災から何を学んだか～災害ボランティアセンター編～

信州ふっころフェスティバル

ONE NAGANOをふりかえり
復興現場から今を発信

災害現場に福祉の力を

～長野モデルから被災施設支
援のしくみを問い直す～

証言集

～長沼りんご農家編～
他、随時更新中

まちの縁側ぬくぬく亭

社会福祉法人とともに、地域
の雑談力こそ復興推進力

災害現場に福祉の力を

新型コロナウイルス感染症対策
を講じた避難所開設・運営のポ
イントを紹介

詳細は裏面



「防災学習・交流促進事業」 動画教材制作

令和元年東日本台風災害において、災害時要配慮者の避難支援事例や住民同士の助け合い、ボランティアや社会福祉法人による被災地の復旧活動、さらに、住民主体の復興に向けたまちづくりの展開など、被災経験の中から学んだことを、他地域の方たちと共有し、ともに学ぶための動画教材を制作しました。

作品名	内 容	公開日
台風19号から何を学んだか～コミュニティ編～『地域とボランティアの力があつたから』	千曲川の堤防が決壊し900世帯すべてが被災した長野市長沼地区。駆けつけたたくさんのボランティアにより、被災した地域の景色は変わり被災者に希望が生まれていきました。徐々に日常を取り戻した住民が立ち上がり、ボランティアとともに復興に向けた地域活動が展開されていきます。	令和2年 12月30日
台風19号から何を学んだか～災害ボランティアセンター編～『協働の力が、復興の歩みをささえている』	8万人のボランティアと400を超える市民活動・NPO団体による「ONE NAGANO」の取組。被災したエリアに災害ボランティアセンターのサテライトを設置し、住民とともに運営。アウトリーチによる寄り添い支援の徹底と、多様な団体との連携・協働が復興への歩みを進めていきます。	令和2年 12月30日
証言集 ～長沼りんご農家～	台風災害により大きな爪痕を残した長野市長沼地区のりんご畑。ボランティアとともに立ち上がったりんご農家が、長沼のりんごの魅力や、「被災地としてではなく産地として有名になりたい」と想いを語ります。	令和3年 1月4日
災害現場に福祉の力を～長野モデルから被災施設支援のしくみを問い直す～	千曲川の堤防が決壊した長野市北部地域では、福祉施設が大規模な避難行動を余儀なくされました。①発災時に命を守る②復旧・復興期に施設と事業を回復させる③復旧・復興期に地域や事業所間のつながりを活かす 3つのテーマでふりかえります。	令和3年 2月6日
ふっころフェスティバル2020 長野復興ちゃんねる	2020年11月3日に開催した信州ふっころフェスティバル2020にて、YouTubeでライブ配信したトークセッション。8万人のボランティアと400を超える団体による支援の力は今どう活かされているか、1年後の被災地から発信。	令和3年 3月8日
まちのさまざまな力を結集して災害を乗り越える「がんばらぜい佐久穂町」	千曲川上流にある佐久穂町。事前に町内全4,300世帯を回り「災害時住民支え合いマップ」を作成していた消防団、住民に避難を呼びかけた民生委員、移住者、地域おこし協力隊も加わり、ボランティアとともにまちのさまざまな力が結集して災害を乗り越えてきました。	令和3年 3月26日
災害現場に福祉の力を	新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所開設・運営のポイントを紹介。	令和3年 3月29日
「まちの縁側ぬくぬく亭」 社会福祉法人とともに 地域の雑談力こそ復興推進力	台風災害で被災した長野市豊野地区の中心地に、外からの支援がきっかけで誕生した「まちの縁側ぬくぬく亭」。事業所自体が被災した社会福祉法人賛育会が牽引し、地域のコーディネートにより地元ボランティアや住民が加わり、「ふくしのまち豊野」に根付いていきます。	令和3年 6月8日